

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成24年度第2回 第2分科会（健康、福祉分野）
日時	平成24年10月26日（金） 午後3時～午後5時
場所	江南市役所 2階 大会議室（南）
出席者	市民委員 小椋 雅江、沓名 珠子、黒岩 義光、馬場 紀久世、水野 純子、社本 亘
	市職員 宮島 まち子、村井 篤、佐藤 和弥、平田 廣巳、菱田 幹生
議題	1. 江南市まちづくり会議（分野別会議）議事要旨について 2. 前回の会議の報告事項について 3. 施策評価の結果について 4. その他
資料	第1回まちづくり会議 議事要旨

◆ 会議結果 ◆

1. 江南市まちづくり会議（分野別会議）議事要旨について

- ・資料に基づき、事務局から前回の会議の議事要旨について説明がありました。

2. 前回の会議の報告事項について

- ・資料に基づき、事務局及び担当課長から前回の会議で各委員から質問があった箇所について、報告がありました。

3. 施策評価の結果について

【柱2】地域で安心して子育てできる環境づくり

【施策①】働きながら子育てする家庭への保育・育児支援

- ・保育園指定管理者制度導入事業が休止となっているが今後の保育園への指定管理者制度の導入予定についての質問があり、布袋北保育園が平成21年度から指定管理者制度により管理運営を委託しており、平成26年度以降についても指定管理者制度での運営を予定しています。平成25年度からは古知野西保育園に指定管理者制度を導入する予定です。それ以降については、今のところ指定管理者制度の導入予定はありませんとの説明がありました。
- ・保育園の統廃合について質問があり、今のところ具体的な方針はありません。国の指針で園児数60人以上がひとつの目安となっており、経常的に60人を下回る保育園が出てきた場合、個別の保育園ごとに検討する必要があると認識していますとの説明がありました。
- ・学童保育受入待機児童数について質問があり、平成23年度末の時点で待機児童はありませんでしたが、年度途中で一時的に待機児童が出てしまうこともあるため、施設面、子ども達の安全面等、市教育委員会と協議しながら、できるだけ待機児童が出ないようにしていきますとの説明がありました。
- ・学童保育受入待機児童数について質問があり、学童保育は小学校区ごとに運営しており、小学校区をまたいだ受け入れは困難であり、小学校区ごとでの待機児童数で集計していますとの説明がありました。

- ・親の仕事が夜遅いため、昼間に子育てができていない家庭もある。親が具体的な方策を取れず、学童保育にも入れていない場合もあるが市の対応はどの質問があり、そのような状況も認識はしており、今のところ直接的な支援は難しいが、相談があれば支援できる部分について支援していきますとの説明がありました。

【施策②】子育て不安の解消

- ・児童虐待件数について質問があり、一宮児童相談センターへの通報があり、対応した件数で把握しています。児童虐待を未然に防ぐため早めに対応していくということで件数が多くなっていますとの説明がありました。

【施策④】子育てに困っている家庭への経済面等の支援

- ・母子家庭が自立するための就労への教育支援について質問があり、職を得るために資格を取得することに対する助成支援を行った件数です。自立後の追跡調査については特に行っていませんとの説明がありました。また、ひとり親家庭の自立人数については、児童扶養手当を受給していた方が、何らかの所得を得ることで自立し、手当が全部又は一部支給停止となった人数ですとの説明がありました。
- ・母子家庭が自立するための就労への教育支援について質問があり、子育て支援課として直接、職を紹介することはありませんが、職業相談窓口を紹介する等、就労につながる支援を行っていますとの説明がありました。

【柱3】障害者の生きがいと安心した生活の確保

- ・資料2に基づき、委員（福祉課長）より説明がありました。

【施策①】障害者の社会参加への支援

- ・名鉄江南駅、布袋駅の利用者について質問があり、江南駅はエレベーターの設置等の整備が進み、利用しやすくなってきましたが、利用者は平成18年度から減少傾向にありますとの説明がありました。また、障害のある方が駅を利用する場合、名鉄の職員が介助につき乗降の手伝いをしていますとの説明がありました。
- ・公共施設のバリアフリー化率について質問があり、市の施設についてのバリアフリー化率を集計しているため、駅は市の施設ではありませんので含めていません。バリアフリー化率100%を達成することは非常に難しいことですが、今後も目標としていきたいとの説明がありました。指標の対象となる具体的な公共施設等については、改めて報告しますとの説明がありました。
- ・就労継続支援事業所について質問があり、通常の事業所に雇用されることが困難な障害者に、就労の機会を提供する事業で、A型は雇用契約を締結して利用する事業所、B型は雇用契約を締結しないで利用する事業所です。A型は、市内に1つ事業者がありますとの説明がありました。

【柱6】地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保

- ・資料2に基づき、委員（福祉課長）より説明がありました。

【施策①】被災者及び生活困窮者等への自立支援

- ・生活保護世帯の自立した割合について質問があり、ケースワーカーの支援により自立した生活保護世帯、年金の受給により生活保護が廃止となった世帯等を指標としていますとの説明がありました。また、平成24年度には生活困窮者等の自立に向けた支援を行う就労支援員を配置しましたとの説明がありました。

〔柱4〕健康な生活の確保

- ・資料2に基づき、委員（健康づくり課長）より説明がありました。

〔施策①〕健康の増進・保持

- ・運動習慣のある市民の割合【女】が低いことについて質問があり、平成25年度から始まる新たな健康日本21こうなん計画を策定するにあたり16歳以上の市民2,000人にアンケート調査を行った結果で、女性の中でも特に子育てや働く世代に運動習慣の割合が低いと分析していますとの説明がありました。
- ・女性の運動習慣について、江南市は自転車を利用される方が多いと思う。女性は買い物や子育てといった日常生活の中でも自然と運動する場面がみられるが、自分では運動しているという認識がない方が多い。個人の考え方でアンケート結果に反映されていないことも考えられるので、アンケート調査での質問の仕方を検討していただきたいとの意見がありました。

〔施策②〕感染症予防

- ・予防接種（三種混合）接種率について質問があり、未接種の原因については本人の都合、病気等さまざまな理由が考えられます。当日、何らかの理由で予防接種ができなかった方には、次回の予防接種への案内をする等、接種機会を設けていますとの説明がありました。
- ・予防接種の他市町の状況について質問があり、愛知県全体の予防接種（BCG）の接種率は、93.2%ですとの説明がありました。
- ・障害のある子どもへの予防接種について質問があり、市まで出向くことが困難な場合は、かかりつけの医療機関で予防接種を受けていただいていますとの説明がありました。
- ・予防接種の達成率は晴れマークだが、平成21年度に比べ実績値が低くなっているため、接種率を向上させるように取り組んでほしいとの意見がありました。

〔施策③〕母子保健

- ・乳幼児健康診査（4か月児健康診査）の受診率について質問があり、出産すると全戸訪問を行っていますが、本人の都合、病気等により100%実施はできていません。一番問題なのは何も連絡がつかない場合であり、乳幼児の健康診査、予防接種時に連絡がつかない方や健診未受診者を訪問する等、保健センターとのつながりをもてるようにしていますとの説明がありました。
- ・豊橋市の事件のように、保健センターでの健診が未受診であることが児童相談所等にうまく伝わらず、手遅れになってしまうことも考えられるため、ぜひ、受診率100%を目指してほしいとの意見がありました。
- ・妊婦健康診査について質問があり、妊娠初期（8週頃）から14回、指定された項目の健診を公費で受診できますとの説明がありました。

〔柱5〕保険年金制度の健全な運営

- ・資料2に基づき、委員（保険年金課長）より説明がありました。

〔施策①〕医療保険の健全運営

- ・子ども医療費助成事業について質問があり、小学校4年生から6年生までの通院医療費について、平成23年7月診療分から自己負担額の2/3を償還払いにて助成しています。今後もこの制度について市民の方に広報などを通じ、周知してまいりますとの説明がありました。また、現在は償還払いとなっており、その現物給付化につきましては、医療機関のシステム等に影響しますので、尾北医師会と協議をしていき

いと考えていますとの説明がありました。

- ・国民健康保険税のコンビニ収納について質問があり、コンビニ収納の導入による収納率への波及効果を正確に把握するのは難しいが、これまで金融機関を利用して納付していた多くの方が、コンビニでの納付を利用されていますとの説明がありました。
- ・特定健康診査と特定保健指導について質問があり、特定健診・保健指導の受診率が低い場合、保険者が後期高齢者支援金を多く支払う事となっていました。特定保健指導を行っていない保険者に対しペナルティを課される事となり、江南市については影響ありませんとの説明がありました。
- ・特定健康診査について質問があり、特定健康診査は保険者が行うこととなっており、市の国民健康保険から受診券を送付し受診していただいています。7月から10月までの間で受診していただくよう案内しており、健康づくり課が実施する特定のがん検診と同時に受診できる仕組みとなっています。今後は受診率向上のため、実施・PR方法等について検討していきますとの説明がありました。
- ・愛知県の福祉医療制度の見直しについて質問があり、愛知県では平成26年度の制度見直しに向け、検討をしていますが、その詳細な内容についてはまだ示されていませんとの説明がありました。

4. その他

- ・事務局から、まちづくり会議（全体会議）の日程について説明があり、松尾分科会長、社本副分科会長、宮島高齢者生きがい課長に出席のお願いがありました。

まちづくり会議（全体会議）

開催日時：平成24年12月27日（木）午後1時～ 市役所 2階 大会議室

- ・事務局から分野別会議で委員の皆さんからいただいた意見等について、第2分科会で取りまとめた施策評価の結果として、まちづくり会議（全体会議）に報告していきます。また、施策評価の結果については、11月の広報江南や市ホームページで公表していきますとの説明がありました。